

令和 7 年度 学校評価書 (実施段階)

福岡県立 嘉穂 高等学校

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割を目指すべき学校像)</p>	<p>「多様な個性を尊び、未知なるものに挑戦する進取の精神を持った人材を育成する学校」 基礎基本を徹底した深い学びにつながる授業や独自の探究プログラム「嘉穂Dream Compass」を通して、地域から世界へ視野を広げ、持続可能な社会創りや次世代の科学情報技術を担う人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や日本を担い、さらには世界のトップリーダーとして活躍できる学力や教養を身につけた人材の育成 ・物事の本質や真理を追究する姿勢を身につけた人材の育成 ・信頼の意味を理解し、誠実に生きる姿勢を身につけた人材の育成 ・物事に動じない逞しい意思と生きていくために必要な体力を身につけた人材の育成 ・自主性、創造性及び多様な生き方を尊重する姿勢を身につけた地域創りに貢献する人材の育成 ・AIを活用し課題解決を図ることができる力を身につけた次世代を担う科学技術人材の育成 ・自ら将来設計を行うキャリアプランニング力を備えた人材の育成
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な進路に対応したカリキュラム編成 ・基礎的、基本的な知識・技能を確実に習得し、リーダーに必要な深い教養を身につけることができる授業の実施 ・高度な研究課題に取り組むことにより課題解決能力を身につけることができる探究活動の実施 ・中高間及び学科・コース間の交流をとおして、協働の意義を学び主体性、自主性、創造性を育む学校行事を実施
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・向上心があり、志の実現に向けて自分の能力を伸ばしたい人 ・さまざまな人と協力し、自分や集団の成長のために努力できる人

学校運営計画(4月)			
<p>学校運営方針</p>	<p>「質実剛健」・「自主創造」に掲げる精神を実践するとともに、多様な生き方を尊び、未知なるものに挑戦できる人材の育成</p>		<p>評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>		<p>具体的目標</p>
<p>生徒が主体となって学校生活を作っていく姿勢を育むことができた。引き続き、基本的な生徒指導、基本的な学習指導を実施していくことで、生徒の主体性、創造性、多様な生き方を尊重する姿勢と新たな時代が求める学力を育成していく。</p>	<p>「礼節」「多様な生き方を尊重する姿勢」を備え、高い人権意識を持つ生徒の育成を図る。</p> <p>生徒のたくましさ誇りの基盤となる「自主性」「主体性」「創造性」の育成を図る。</p> <p>生徒の課題解決力の基盤となる「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。</p> <p>「嘉穂Dream Compass」において、生徒の個性及び自ら学び考え行動する能力を開発し、生徒の第一希望進路の実現を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○人権に関する職員研修の実施や、職員の適切な言葉遣いの徹底により、職員の人権感覚と人権意識の高揚を図り、強い人権意識に基づいた教育活動を実施する。 ○人権教育を推進・充実することにより、生徒の人権感覚の育成と他者への配慮の徹底を図る。 ○教育活動全般における道徳教育の実施により、多様な生き方を尊重し、他者とともによりよく生きるための基盤を養わせる。 ○演劇祭(文化祭)・大運動会等の生徒会行事及び部活動を充実させることにより、生徒の「自由と責任に基づく主体性」「自主性」「創造性」を育む。 ○各教科で考査並びに模試結果等の分析を確実にし、指導方法の改善を図ること(指導と評価の一体化)により、生徒に「基礎的・基本的な知識・技能」を確実に習得させ、「思考力」「判断力」「表現力」を育成する。 ○教員が質の高い授業と質の高い考査を実施することにより、「深い学び」に繋がる問いを実施し、生徒の学力を向上させる。 ○全職員が「学びにおける生徒の成長の取組と学力の向上」を自己評価の項目に位置づけ、年間を通して研鑽に取り組む。 ○到達目標の明確化とシラバスを充実することにより、生徒が主体的に学習の取組む姿勢を確立させる。 ○情報リテラシーの習得及びAIチャレンジの活用により、課題解決能力を育成する。 ○嘉穂Dream Compassを軸として課題発見・課題解決能力を育成するとともに進路観を育成する。 	<p>A</p>

自己評価				学校関係者評価			
評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の結果等	評価(3月)	結果の考察と次年度の課題	項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
<p>学習指導</p>	<p>生徒の自学の促進</p>	<p>学年進捗に応じたスタディサプリ活用計画を実施し、活用状況の把握とその後の改善を行う。 各学期終了時にシラバスを修正・更新し、生徒に学習の見通しを持たせ、家庭学習に活用させる。 定期考査前の学習時間調査と成績データの比較・検証を行い、結果を教員及び生徒にフィードバックする。</p>	<p>・定期考査前の学習時間調査を通して、自学の状況を把握することができた。(100%)</p>	<p>B A B A A B</p>	<p>・学期当初に、シラバスを用いて学習の見通しをもたせることができた。 ・次年度は、全職員で、データの分析を共有できる研修を実施する。</p>	<p>A</p>	<p>業務のスリム化を推進し、シラバスの有効活用及び授業改善のために時間を使うことができることを期待する。 生徒のよき伴走者として質の高い指導を継続してほしい。</p>
	<p>学習における生徒の成長の見取りに基づいた授業改善</p>	<p>授業の目標(本時のめあて)の提示や深い学びにつながる問いについて、教員の共通認識と実践を促す。</p>			<p>・「本時のめあて」の提示について、共通理解を促すことができた。 ・深い学びにつながる問いや評価に関する職員研修を企画する。</p>		
	<p>心身の健康づくりと多様性を尊重する態度の育成</p>	<p>面接やスクールカウンセリング等の教育相談で保護者等との連携を強化し、その充実を図る。 美化活動の意義を理解させ、清掃活動など主体的に環境整備や改善に努めることができる生徒を育成する。 全ての教育活動において教員及び生徒の言語環境を整え、生徒と教員の堅実な信頼関係を築く。</p>	<p>・フォームを利用し、生徒の満足度や改善点を集約した。 大変満足 75% やや満足 15% やや不満 10% 大変不満 0%</p>	<p>A A A B</p>	<p>・面談の機会が増加し、きめ細かい支援ができた。 ・美化コンクール期間以外の校内整備に対する主体的な行動を促し、更なる美化意識の向上を図る。</p>	<p>A</p>	<p>潤陵祭・大運動会を観覧したが、笑顔で、生き生きとした生徒の姿に感動した。多くの保護者から「嘉穂高校は楽しい」と子どもが言っていると聞く。 今後も、生徒会や実行委員会を中心とした主体的な取組を大切にしていきたい。</p>
	<p>規範意識の高揚と生徒の主体性の育成</p>	<p>生徒主体の生徒会活動を促進するため、他校との生徒会交流やリーダーズ研修を充実させる。 学校行事の企画・運営で培った創造力や実行力及び協働性を活かし、日常において主体的に行動できる生徒の育成を図る。</p>		<p>A A A A</p>	<p>・生徒主体で学校行事を計画立案及び運営を行うことができた。 ・学校行事や日常生活での真に主体性を育むよう、支援の在り方を検討する。</p>		
	<p>第一希望進路実現に向けた確かな学力の定着と深い学びの深化</p>	<p>1・2年「学びの基礎診断」模試分析を充実させ、教科ごとの学力定着の目標値を設定する。 新教育課程入試1年目の成果と課題を確認し、朝課外、夏季・冬季補習内容の検討、受講者層と学力向上を図る。 探究活動での成果物を活用できるように学校全体で模試大別会型・学校推薦型対策の早期化・組織化を推進する。</p>	<p>・進路希望調査の実施 大学進学 90% 民間就職 2% 専門学校 8%</p>	<p>A B A A A A</p>	<p>・模試分析を充実させ、生徒へ還元することができた。 ・課外授業について、更なる魅力化を図り、生徒の進路希望に合ったものを提供できるようにする。</p>	<p>A</p>	<p>模試の分析等、組織的な取組をさらに充実させて、今後も生徒が希望進路実現できるよう継続した指導を行っていただきたい。 海外留学生との交流等を通して、生徒たちが筑豊に留まらず、全国や世界に羽ばたいていくことを期待する。</p>
	<p>自己の生き方・あり方を考え、キャリア形成する力の育成</p>	<p>「総合的な探究の時間」の活動内容の改善および生徒の進路に繋がる成果物の作成と共有を図る。 生徒のキャリア形成につながるよう、研修旅行等のKDC事業の深化を図る。 講演会等の効果的な活用を推進し、「生き方」や「志」を育成する。</p>		<p>A A A A B</p>	<p>・外部ワークショップ等への参加者を増やすことができた。 ・生徒たちの「生き方」や「志」を育むため、批判的思考力や社会的視点を育む取組を継続して実施する。</p>		

様式3

研修	授業力の向上と教員の自己研鑽力向上	「深い学びにつながる問い」の実践を各授業の実践テーマとする。 授業評価アンケートの速やかなフィードバックと単元別アンケートの実施を推奨する。 5教科を中心に教科レポートを提出してもらい、研修報告集に掲載する。	・「深い学びにつながる問い」が「毎時間ある」61.2%、「ときどきある」35.8%（全学年集計）	A B B	B	・授業実践の共通テーマを職員全体に周知させることができた。 ・単元別のアンケートを実施することで、教科研修を充実させる。	A	業務のスリム化を推進し、職員研修の充実を生かしてほしい。 避難訓練は、防災教育の観点からも早期に実施してほしい。 PTA活動も積極的な取組がなされており、素晴らしい。
	PTA活動及び学校内の環境整備	PTAとの連携を密にし、事業の企画・立案を早期に行う。 地震などを想定し、より実態に即した防災避難訓練を実施する。 「失火も財産」という共通認識の下、生徒がチャレンジしやすい環境を作る。 資料の整理並びに執務室の整理整備を行う期間を設定する。	・授業に対する好評価約93% ・学習環境に対する意見5件（公開授業アンケート134件のうち）	B B B	B			
第1学年	主体性、協働性を尊ぶ態度の醸成	随行事での共同作業、役割分担を通して、「他者を尊重し」、価値観を共有する経験を積む支援を行う。 活動前の意欲の醸成、活動後の振り返りを行わせ、言語化による明確な意識化を図る。 「失敗も財産」という共通認識の下、生徒がチャレンジしやすい環境を作る。	・酒蔵祭や大運動会を通して、クラスや学年の仲が深まった。（3.5/4点）	A A B	A	・行事で学んだことを学校生活全般に波及させる支援を継続することができた。 ・校外の様々なプログラムに積極的に取り組める環境整備を行う。	A	生徒の主体性、協働性の成長は行事の様子や地域のイベント等での姿を見ても感じられる。 自主創造の精神が脈々と受け継がれていることが素晴らしい。
	学習習慣の確立を通じた基礎学力の育成	英語学習を軸にした家庭学習の習慣化を図る。 基礎問題の繰り返しを通して、できる実感を持たせる。 「なぜそうなるのか」を考える発問の工夫、答えない発問をする機会を持つ。	・思考力が問われる授業に前向きに取り組んでいる。（3.5/4点）	A A B	A			
第2学年	確かな学力の定着	考え並びに模試結果等の分析を詳細に行い、指導方法の改善を図る。 教師自身が人権感覚を磨きながら生徒と活発なコミュニケーションを図り、授業を生徒の居場所とする。 やり直し課題の設定や学習計画の立案を通して学習のPDCAサイクルの確立を支援する。	今年度考査前平均学習時間 2.8時間	A A B	A	・考査や模擬試験の分析をもとに、指導改善をすることができた。 ・学習習慣の確立のため、計画立案及び振り返りを充実させる。	A	人材育成のために様々な取組がなされている。継続して行ってほしい。修学旅行における取組は大きな成果だと評価できる。
	自主性、主体性、創造性を有する生徒の育成	実行委員による学年行事の充実により、自主性を育む機会づくりと支援を行う。 修学旅行をはじめ他者と協働する場を積極的に設定し、主体性を育む機会づくりと支援を行う。 学校の枠を超えた活動を展開し、多様な人物との議論のうえ新たな価値を創造する経験を支援する。	・46名の実行委員を中心に修学旅行を企画・運営することができた。	A A B	A			
第3学年	生徒一人ひとりの第一希望進路実現	丁寧な教育相談を継続的に実施し、生徒の個性や可能性を伸長する進路実現の支援を行う。 質の高い授業を行い、社会の諸課題を解決するために必要な知識・技能を確実に習得させる。 各授業において「深い学びにつながる問い」を投げかけ、学び続ける姿勢を養わせる。	・学習を基本に進路実現に向けて切磋琢磨しながら粘り強く取り組ませることができた。	B A A	A	・学校行事や部活動とのバランスをとりながら、学習に注力させることができた。 ・早期に個人面談を充実させる。	A	学校行事を通じた人材育成と学力向上にむけた組織的な指導が適切に行われていることは評価できる。第一進路希望実現に向けて、今後も取り組んでほしい。
	地域や社会に貢献する人材の育成	部活動や学校行事を通して、出合いや出来事から学び、成長する機会を充実させる。 校内外を問わず交流と挨拶を交わせ、他者と気持ちのよいコミュニケーションを図る力を育成する。 酒蔵祭や大運動会の企画・運営を通して主体性と創造性を高め、地域に活力をもたらす。 基礎・基本の徹底を図り、発展的な内容を取り扱った授業を展開する。	・校則を意識して行動することができた。 77%	B B A	A			
理数科	基礎的・基本的な知識・技能及び課題解決能力の育成	3年間を見通した授業進度の工夫、演習問題の精選により確かな学力をつけさせる。 探究活動において、生徒の主体的活動を支える指導を行う。 校内外の課題研究発表会等への積極的な参加を図る。	・1年7、11月模試ともに国数英3教科総合の標準偏差が「昨年度より小さくなっている」。	B B A	A	・3年間を見通し、基礎・基本の定着と思考力・表現力を養成する演習や実験を展開し、確かな学力を身に付けさせる。 ・次年度は、理数科交流会を複数回実施することで、他学年の生徒で意見交換し、理数科としての縦のつながりを強化していく。	A	校内外での発表会や理数科交流会等、積極的な取組を継続して、高い進路実績を残してほしい。
	理数科行事の充実による、より具体的な将来像の育成	大学訪問、施設見学、大学講義を通して進路意識を高める。 高大連携を行い、大学教授からの指導助言を仰ぎ、より高度な探究活動を行う環境を整える。	・今年度から新たに理数科交流会を実施したが生徒の満足度が大変高かった。	A A A	A			
武道・日本文化コース	武道・日本文化コースの生徒育成像及び進路指導方針の校内外への周知	生徒育成像及び進路指導方針を年度初めの会議にて全職員に周知するとともに適宜検証する。 広報活動を充実させ、校内外に開かれたコースになるよう様々な活動を展開する。 武道・日本文化コース説明会の内容を精査し、効果的に実施する。	コースの課題や説明会の満足度等についてのアンケート実施 大変満足 58% やや満足 25% やや不満 12% 大変不満 5%	A A B A	A	・コースが目指す生徒育成像を明確にし、見直しを持って指導に取り組むことができた。 ・各種教員研修会へ積極的に参加する。	A	特色ある教育活動がきめ細やかに行われており、今後も様々な学びを進路実現に生かしてほしい。
	幅広い知識と教養を身に付け、コース独自の行事の検討	模試や定期考査等の分析を行い、成績の実態を把握する。 日本文化実習の内容を精査し、習熟度授業の充実による基礎基本の定着を図る。 学校設定科目で実施したものを総合的な探究の時期とリンクさせる。		A A A	A			
学校いじめ防止基本方針	いじめの未然防止	教育活動全体を通して、言語環境を整え、他者へ配慮できる生徒の育成を図る。 生徒主体の生徒会行事を通して、達成感や自己肯定感を高揚させる。 いじめが起きにくい仕組みを作る環境をつくるために、HVC活動の充実と学期1回エンカウンターワークショップを実施する。	学校生活アンケートにより、人間関係と学習に関して不安を抱える生徒がいることを把握できた。	B A B	B	・エンカウンターやソーシャルスキルトレーニングを学期に1回実施する予定にしていたが、計画どおり実施できなかった。 ・次年度は、他分掌と情報共有し、計画どおり実施する。	A	いじめの未然防止のために、教職員の言語環境を整えるという考え方は素晴らしいことである。今後も継続して取り組んでほしい。
	いじめの早期発見・事案対策	生徒へのアンケートを月に1回、保護者へのアンケートを学期に1回行う。 教育相談を年に3回、保護者面談を年に2回実施する。 いじめ問題対策委員会における組織的かつ迅速な対応を行う。	生徒へのアンケートを実施することで、早期に生徒の変化に気づき、適切な手立てを講じることができた。	A A A	A			

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がシラバスの活用や本時のめあてを確認しながら、見直しをもって授業、定期考査に取り組むことができるよう、積極的に授業改善を行っていく。 ・生徒の主体性、自主性をさらに成長させるための適切な指導と支援の充実を図る。 ・積極的かつ効果的、また戦略的な広報活動を充実させると同時に、本校独自の教育活動を充実させる。 ・家庭、地域、関係諸機関との連携を密にし、生徒の状況把握に努め、安心・安全な学校づくりに努める。
--

学校関係者評価	
評価(総合)	自己評価は A:適切である B:概ね適切である C:やや適切でない D:不適切である
A	
評価項目以外のものに関する意見	
<p>学校での生徒の様子を見てると、明るく楽しいような雰囲気伝わってきた。子どもの「口コミ」こそが最大の広報活動であり、保護者の安心感や信頼も高まっているようだ。また、主体的に考えて行動することが現在の社会では大切であり、まさしく嘉穂高校の教育そのものであると改めて思う。</p>	